

患者さんへ

救急初療室における薬剤師常駐の有無による医師の薬歴把握実態等に関する比較調査

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1. 研究の対象

2019年4月1日より2020年3月31日までに札幌東徳洲会病院に救急搬送され、入院となった患者さんを対象としています。紹介等による救急搬送から入院となった患者さん、および急性中毒等により搬送された患者さんは除外いたします。

2. 研究目的・方法

本院では2016年3月より救急初療室（Emergency room：ER）専従薬剤師を平日日勤帯において配置し、持参薬やお薬手帳を持参していない患者さんに対してかかりつけ医療機関及び保険薬局へ問い合わせを実施し、迅速かつ正確な薬剤情報把握に努めています。そこで、本院へ救急搬送され、入院となった患者さんを対象として、診療録よりデータを収集し、ER専従薬剤師勤務時（平日日勤帯）に搬送された患者さんをA群、ER専従薬剤師非勤務時（土日祝日、夜間帯）に搬送された患者さんをB群として比較することにより、救急搬送患者の薬歴情報を把握する上で、ER専従薬剤師が有用である可能性を検討することがこの研究の目的です。

研究実施期間は、院長承認後より2022年3月までを予定しています。

3. 情報の利用拒否

情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんのご家族等で患者さんの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

4. 研究に用いる情報の種類

年齢、性別、救急搬送時および入院時の患者情報（救急搬送日時、バイタルサイン、疾患名、病棟、診療科、認知症の有無等）、医師・薬剤師の薬歴把握関連情報（医師カルテ、薬剤師カルテの薬歴、副作用歴、アレルギー歴等の記録、薬剤師初回面談の有無、実施対象（患者、家族など）、持参薬鑑別（入院前の薬の服用状況の確認）の有無、実施者の職名、薬剤情報源（お薬手帳、薬剤情報提供書、診療情報提供書等）、持参薬鑑別報告書上の〔特記事項〕 など

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先及び研究への利用を拒否する場合の連絡先：

医療法人徳洲会 札幌東徳洲会病院・薬剤部 齋藤 靖弘（研究責任者）

住所：札幌市東区北 33 条東 14 丁目 3-1 電話番号：011-722-1110

(2021 年 4 月 22 日作成、第 1 版)